

# 祖父母の家 ネット意識調査

## 孫の本音 改築ヒントに

### トイレ 苦手 最多 「暗くて寒い」「和式」

「祖父母の家に対する意識調査」は同協議会が2015年3月、全国の4歳から小学6年生までの子どもと親(30〜49歳)780組を対象にインターネットで行った。

「祖父母の家は、大勢で食事やおしゃべりできて楽しいけれど、暗くて寒いトイレが苦手」  
住宅リフォーム推進協議会(東京都千代田区)が行った調査から、こんな孫の本音が浮かび上がり、住宅リフォームを考えているシニア世代のヒントになりそうだ。

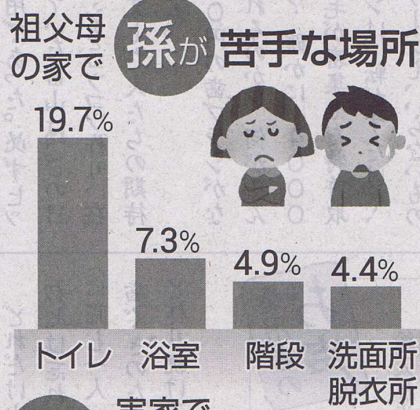
「暗くて寒い」「和式」が寒い(23.3%)、「隙間風が寒い」(19.0%)、「トイレが寒い」(16.8%)など、寒さに関することが上位。してあげたいリフォームとして、キッチン、浴室、トイレなどの「水回り」(29.9%)、手すりや段差解消などの「バリアフリー」(26.7%)、「お風呂の暖房設備」(26.0%)などが挙げられた。

「祖父母の家に対する意識調査」は同協議会が2015年3月、全国の4歳から小学6年生までの子どもと親(30〜49歳)780組を対象にインターネットで行った。

子どもたちが祖父母の家で楽しいと思うのは、「一緒にご飯を食べること」(65.3%)、「一緒におしゃべりすること」(53.7%)、「親戚が集まって大勢で食事できること」(42.9%)など、家族が大勢で集まっただんらんの機会が上位を占めた。

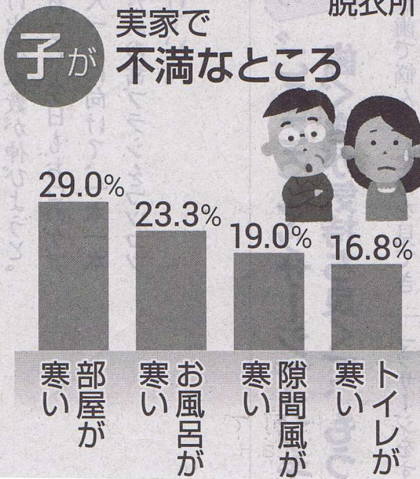
「苦手な場所は「トイレ」(19.7%)が最も多く、「寒くて暗い」「和式だから」「少し遠くにある」「怖い」などが理由。これに「浴室」

### 大勢でだんらん 楽しみ



(7.3%)、「階段」(4.9%)、「洗面所、脱衣所」(4.4%)が続いた。また、祖父母の家に行く頻度は、苦手な場所が一つでもある子より、全くない子の方が多く、お気に入りの方が多く、全くない場所が全くない子より、一つでもある子の方が多く傾向があった。

一方、子どもたちの親が不満だったのは、「部屋が寒い」(29.0%)、「お風呂



が寒い(23.3%)、「隙間風が寒い」(19.0%)、「トイレが寒い」(16.8%)など、寒さに関することが上位。してあげたいリフォームとして、キッチン、浴室、トイレなどの「水回り」(29.9%)、手すりや段差解消などの「バリアフリー」(26.7%)、「お風呂の暖房設備」(26.0%)などが挙げられた。

同協議会は、「年配者は長年住み慣れた家の不便さに気付かないことが多い。数字で示すことで、意識を変えさせるきっかけになる」とみている。